

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 773 事業名 博物館施設維持管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		博物館費	
	大事業		博物館事業	
	事項		博物館施設維持管理事業	

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	1	文化遺産の保護・継承
取組	2	文化遺産の公開と活用

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	博物館	寺西 貞弘 (423-0003)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他	○	その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	博物館の維持管理と博物館の運営全般。	空調器機の維持管理・セキュリティの確保・館内外の清掃等管理委託している。また、23年度については、館内外の危険箇所数箇所を修繕し安全を確保した。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	42,403	40,676	38,485	40,498	37,277	38,987	37,277		37,277	
伸び率 (%)	-	-	-9.2%		-3.1%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	20,886	18,617	18,617	14,707	18,617	11,794	18,617	18,617	18,617
	非常勤職員	2,553	4,139	4,139	4,037	4,139	7,292	4,139	4,139	4,139
	小計	23,439	22,756	22,756	18,744	22,756	19,086	22,756	22,756	22,756
国庫支出金										
県支出金				248						
市債										
その他	1,132	1,692	1,692	941	941	695	941	941	941	
一般財源(税等)	41,271	38,984	38,984	39,309	38,984	38,292	38,984	38,984	38,984	
所要人数	常勤職員	2.73	2.43	2.43	1.95	1.95	1.56	1.95	1.95	1.95
	非常勤職員	1.75	2.09	2.09	1.6	1.6	2.49	1.6	1.6	1.6

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
活動指標	年度目標値										
		実績値									
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度							
				年度目標値							
	単位	全体目標値	全体目標達成度	実績値							
				年度別達成度							
成果指標	入館者数	人	全体目標値	11000	全体目標達成度	年度目標値	12000	12000	12000	12000	12000
						実績値	9658	11888	13419		
	施設の故障等による臨時閉館日数	日	全体目標値	0	全体目標達成度	年度別達成度	80.4%	99.0%	111.8%		
						年度目標値	0	0	0	0	
						実績値	0				
						年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	
		B 1	

担当課評価の根拠	博物館は昭和60年11月に開設以来改修やリニューアルといったハード面の改修を行っていない。歴史博物館という性格上様々な制約があるが、職員一丸となりクリアしている。しかし、博物館の心臓部ともいえる空調器機も開設以来改修されていない。冷暖房の時短化やこまめな節電により光熱水費を抑えることはできても器機の老朽化はとめることができない。当館は、デマンド監視システムを導入しているため重要な館蔵品が納められている特別収蔵庫の温度湿度を確保するため入館者がいる展示室以外の空調を停止することもしばしばあり、職員の努力により通常運営ができています。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	空調機の老朽化により、近い将来適切な収蔵・展示環境を維持できない可能性があるため、計画的な改修を行う必要がある。